

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部

2022 年度研究発表会

報 告

2022 年 12 月 1 日

1. 概 要

日本都市計画学会北海道支部では、都市計画に関する日頃の研究内容や実践活動を広く発表する機会を設けることを目的とし、支部研究発表会を開催しました。発表いただいた内容は研究論文に限ることなく、都市・地域づくりの現場における実用性に寄与する実務報告や実践報告も含めたものとし、都市計画に関連する分野の方々の情報交換や交流の機会になることを期待して実施しました。本年度は人が集まる魅力的な場所「よりどころ」を本研究発表会のテーマとして設定いたしました。



高野支部長開会挨拶／会場風景

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部 2022 年度研究発表会

<テーマ> よりどころ

テレビドラマでは喫茶店や茶の間が主人公らの集う場所となりそこを核にストーリーが展開していきます。まちづくりにおいても同様であり昨今整備されてきた子ども食堂やコミュニティカフェはそうした場所の一つと考えられます。日本都市計画学会北海道支部ではこのような人が集まりさまざまな活動の核となる場所を「よりどころ」として着目し、道内外の先進事例を通じて魅力的な場所となるための条件を探る研究を行っています。本年度の支部研究発表会においては「よりどころ」をテーマに掲げて基調講演並びに研究発表・総合討論を行って参ります。

2. 日時・会場・参加者

日 時 2022 年 11 月 26 日 (土) 13:00～18:00

会 場 北海道大学工学部 A 棟 2 階 アカデミックラウンジ 1

北海道札幌市北区北 13 条西 8 丁目

開催方式 会場・オンライン(ZOOM)併用開催

参加者 34 名

3. 後援

日本建築学会北海道支部、土木学会北海道支部、日本造園学会北海道支部、北海道都市地

域学会、日本計画行政学会北海道支部、日本都市計画家協会北海道支部、北海道地域観光学会、北海道市長会、北海道町村会、北海道開発局、北海道、札幌市

4. 全体プログラム

12:30 会場開場 / 12:50 オンライン開場

【総合司会】 日本都市計画学会北海道支部 副支部長 愛甲哲也

13:00 開会式

開会挨拶 日本都市計画学会北海道支部 支部長 高野伸栄

13:10-14:10 基調講演

演 題：安平町における北海道胆振東部地震からの復興と「よりどころ」としての場所づくり

講 師：安平町長 及川秀一郎氏

=休憩 10分=

14:20-17:30 研究発表・総合討論

全体司会 日本都市計画学会北海道支部 副支部長 小篠隆生

○14:20-15:30 研究発表セッション1【一般部門】

司 会 日本都市計画学会北海道支部 副支部長 愛甲哲也

コメンテーター 日本都市計画学会北海道支部

幹事 渡部典大（北海道大学）

幹事 松田泰明（北海道大学）

=休憩 10分=

○15:40-16:50 研究発表セッション2【テーマ部門】

司 会 日本都市計画学会北海道支部 副支部長 小篠隆生

コメンテーター 日本都市計画学会北海道支部

幹事 酒井裕司（イメージランドスケーププランニング）

参事 道脇正則（北海道）

=休憩 10分=

○17:00-17:30 総合討論（全ての司会・コメンテーターによる）

司 会 日本都市計画学会北海道支部 副支部長 小篠隆生

=休憩 10分=

17:40 表彰式・閉会式

表 彰 日本都市計画学会北海道支部 支部長 高野伸栄

(18:00 終了)

5. 基調講演

【論 題】

安平町における北海道胆振東部地震からの復興と『よりどころ』としての場所づくり

【講 師】安平町長 及川 秀一郎 氏

【講師略歴】

1965年生まれ。北海道安平町（旧追分町）出身。高校卒業後に追分町役場に入社。31歳で企画財政課に配属、数多くの計画策定に携わる。役場職員として勤務する傍で通信で日本大学に通い、法律について学ぶ。教育委員会事務局次長を勤めた後、2018年の安平町町長選挙に出馬し、当選。趣味はランニングで、道内各地のフルマラソン大会に参加し、先の「北海道マラソン2022」でも完走を果たしている。100kmマラソンを完走したこともある。

【概 要】

安平町では、平成30年北海道胆振東部地震からの復興を契機として、令和4年度に安平町義務教育学校（小中一貫型）を完成させ、この施設をよりどころとしたまちづくりに着手しています。本講演では、この取組みをリードする安平町・及川町長をお招きしてお話を伺いました。



基調講演者及川町長／会場風景

5. 研究発表・総合討論

【セッション1／一般部門】

司 会	日本都市計画学会北海道支部	副支部長	愛甲哲也
コメンテーター	日本都市計画学会北海道支部	幹事	渡部典大（北海道大学）
		幹事	松田泰明（北海道大学）



セッション1司会・コメンテーター／研究発表風景

No.	研究発表タイトル、◎研究代表者（所属）、共著者
1	北海道美唄市南美唄地区共同浴場の維持に関する課題考察 ◎佐藤駿生（北海道大学大学院工学院）、森傑、野村理恵
2	函館市西部地区における絵葉書から見た地域価値 -人々の場所の感覚と日常感に着目して- ◎松田穂香（ネットトヨタ函館株式会社）、森朋子
3	日本の観光教育を参考にした中国の観光教育への提言 -日中観光系大学カリキュラムの比較をもとに- ◎鄭星蝶（北海道大学国際広報メディア・観光学院）、上田裕文
4	伝統的建造物群保存地区保存計画における修景・許可基準と改正内容に関する研究 -全国117伝建地区を事例として- ◎倉田英司（大阪市立大学大学院）、蕭耕偉郎、嘉名光市
5	都心部における公開空地等の緑化の傾向及び周辺の緑視率の変化 ◎相川萌音（北海道大学大学院農学院）、愛甲哲也
6	北海道の地方部における雪処理の負担と定住意識について ◎小村健太（北海道大学大学院工学院）、岸邦宏、高野伸栄
7	札幌圏大雪時の通勤・通学への影響 -2022年2月上旬に札幌を襲った大雪を対象としたアンケート調査より- ◎大川戸貴浩（一般社団法人北海道開発技術センター）、天見正和、高野伸栄

【セッション2/テーマ部門「よりどころ」】

司 会 日本都市計画学会北海道支部 副支部長 小篠隆生

コメンテーター 日本都市計画学会北海道支部

幹事 酒井裕司（イメージランドスケーププランニング）

参事 道脇正則（北海道）



セッション2 司会・コメンテーター/質問者

No.	研究発表タイトル、◎研究代表者（所属）、共著者
8	身体感覚からみる森林ウォーキングにおけるフローのプロセス ◎張宜欽（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院）、上田裕文
9	地下空間の場所化と利用者の場所性体験 ◎斬一丹（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院）、上田裕文

10	山西省祠の文化的核心と保存活用計画解析 ◎李校瑾（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院）、上田裕文
11	オルタナティブ・スペースの変遷 ～札幌の事例を中心に～ ◎加藤康子（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院）
12	古本屋を核とした共有地と共有知への展望 -DUAL BOOKs の- ◎伊地知恭右（DUAL BOOKs）、伊地知亮子
13	過疎地域における「よりどころ」としての交流拠点の機能に関する研究 ◎植野弘子（北海道大学大学院工学院）、岸邦宏、高野伸栄
14	北海道内地域における地域運営組織の形成プロセス - 研究の論点と組織形成プロセスの在り方 ◎石井旭（地方独立行政法人北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所）

【総合討論】

司 会 日本都市計画学会北海道支部副支部長 小篠隆生
（研究発表の全ての司会・コメンテーターによる）



総合討論風景

6. 研究発表の表彰

賞	タイトル/発表者（所属）・連名者
支部長賞	過疎地域における「よりどころ」としての交流拠点の機能に関する研究 ◎植野弘子（北海道大学大学院工学院）、岸邦宏、高野伸栄
優秀賞	函館市西部地区における絵葉書から見た地域価値 -人々の場所の感覚と日常感に着目して- ◎松田穂香（ネットトヨタ函館株式会社）、森朋子
奨励賞	北海道美唄市南美唄地区共同浴場の維持に関する課題考察 ◎佐藤駿生（北海道大学大学院工学院）、森傑、野村理恵
	都心部における公開空地等の緑化の傾向及び周辺の緑視率の変化 ◎相川萌音（北海道大学大学院農学院）、愛甲哲也
	身体感覚からみる森林ウォーキングにおけるフローのプロセス ◎張宜欽（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院）、上田裕文
特別賞	オルタナティブ・スペースの変遷 ～札幌の事例を中心に～ ◎加藤康子（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院）



表彰風景

以 上